

# だいたう 議会報告

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
議員団控室直通  
TEL/FAX 871-5588

市議員 **つとむ** **いづみき 勉** TEL.090-3864-5037

市議員 **かつこ** **とよあし 勝子** TEL.090-1079-8939

市議員 **しげる** **とびた 茂** TEL.090-7099-8429

**法律相談**  
12月2日(水)7時～  
大東市民会館  
※先着順です  
871-5588まで

## まちづくり委員会 日本共産党 平成20年度一般会計決算に反対

同決算が審査された「まちづくり委員会」で、

日本共産党(古崎議員)は、旧同和向け市営住宅家賃の滞納額が増え続けている点や「人権コラム」欄の記事を外注している問題などを挙げて「反対討論」を行いました。

●日本共産党は、これまで旧同和向け市営住宅家賃の滞納について、行政が放置せず毅然と対応するよう追及、他の党派も同調してきました。市は、こうした議会の声にこたえて、明け渡し請求裁判を起こすなど一定の努力をしてきました。しかし、今回の決算審査で、家賃の滞納額が増えていることが判明。古崎議員は「これでは是正になっていない」と強く

ため、工事がストップ。追加工事費は一・五倍に跳ね上がっています。これに「今回、汚染土が出た部分に以前、黒いシートがかけられていた。市は汚染土の存在を知っていたのではないか」と追及しましたが、市は否定。

トがかけられていた。市は汚染土の存在を知っていたのではないかと追及しましたが、市は否定。

古崎議員は、これら以外に「諸福中垣内線道路の水道局前交差点の改善」「氷野3丁目・七反田線道路の



## 中央駐輪場のバイク収容台数増を提言

住道駅デッキ下にバイクが不法に駐車され、通行に支障が出ていることから、古崎議員らが質問で取り上げたことを反映して、住道駅前の中央駐輪場の1階にバイクの駐車スペースが設けられています。さら

## 深野北御供田線道路でも追及

同道路予定地の谷田側北側で産業廃棄物と焼却灰が検出され、汚染土の除去の

## 出前議会報告会 — 10月29～31日に連続開催



報告する豊芦勝子議員(31日 市民会館)

10月29日に諸福老人福祉センターで行われたのを皮切りに、3日連続で「出前議会報告会」が行われ、四会派の代表がそれぞれ議会報告を各10分づつ行いました。その後、参加者から質問や要望が出され、議員や同席していた市当局が答えました。

## 市営住宅募集(募集期間11月2日～20日)

- <一般世帯むけ> 14戸
- <新婚世帯むけ> 5戸
- <親子近居むけ> 12戸
- <福祉世帯むけ> 6戸
- <単身者むけ> 3戸

住宅の詳細は募集要項を参照

申し込み用紙は議員団控室にあります。ご相談にも応じます。



# 市職労定期大会一橋川委員長が続投



10月28日、市職労の第71回定期大会が市民会館で行われ、橋川正樹執行委員長が開会あいさつを行いました。

日本共産党を代表して古崎議員は挨拶で「大会に先立つ役選で橋川さんが委員長に再任された。橋川さんは来年3月末で定年を迎えるが、引き続き委員長職を務める決意だ。組合員の皆さんも、この決意に添えてがんばっていただきたい」とエールを送りました。

## 消防フェア

末広公園で消防音楽隊(ウイングス)の演奏があり、模擬店も出店



## 文化の日記念式典

(謝辞を述べる受賞者代表の広瀬照雄氏)

党議員団は11月3日、「文化の日」表彰記念式典(市民会館)に始まり、市民文化祭(サーティホール)、消防フェア(末広公園)と各行事に次々と出席しました。

## 厚生労働省

# 後期高齢者医療で「資格書」の発行を原則禁止

厚生労働省は10月26日付で、後期高齢者医療で「資格証明書を原則として交付しない」旨を全国に通知しました。そして、交付するケースは「十分な収入などがあるにもかかわらず、保険料を納

付しない悪質な場合」に限るとして、交付する際は事前報告を求めています。さらに交付した場合でも同省が審査して不適切と判断した場合は公表するとしています。

## 門真「国保」調査に大東議員団(古崎・豊芦)も参加

10月24、25日の両日、門真市立南部センターに集結して五百人が調査行動に参加。アンケートは面接で七七五通、これ以

外に郵送で数十通が返送され、すでに八百通以上が集まっています。



調査対象を五百軒以上とする本格的な国保実態調査は、全国で初の取り組みです。大阪社保協などで構成する実行委員会(実行委員長 長友三重短期大学准教授)が、国保の滞納が多い門真市を対象に選定、国保加入世帯を中心に市民の生活実態を把握し、国保行政の転換・改善を求める意図から呼びかけたものです。

当日は、会場いっぱい参加者を前に長友氏や事務局から午前中、実態調査についての学習(意義や説明)があり、昼食をとった後、二人組で街へ出発。

大東からは古崎・豊芦両議員や党の地域支部などから十数人が参加。地元・門真以外に、北河内の各行政区からも多くの人が参加され、中には東京からも参加がありました。

指示された担当地域の地図を頼りに一軒一軒を訪問。留守もありましたが、会えた家では事前に2回、周知のビラが配布されていたこともあり、好意的にアンケートに応じてもらえました。

「年金生活なのに国保料が高くて困る」など切実な声が出されていました。なかには「来るのを待っていたよ」という家もありました。